2023 年度東京大学大学院工学系研究科
都市持続再生学コース(都市工学専攻)　修士課程 10 月入学
入学志望者案内

都市持続再生学コース　アドミッションポリシー

教育研究上の目的：
都市持続再生学コースは、まちづくりに関連する広い分野の実務経験者を対象に、持続可能な都市地域づくり、安全安心のまちづくり、活力ある魅力的なまちづくり、協働のまちづくりなど現代的な都市再生課題に取り組むために必要な総合的な教育を行い、まちづくりの現場において中心となって活躍する高度な知識をもった専門家を養成することを目的とする。

求める学生像：
1）本コースの教育研究上の目的に沿う人材育成に応える人
2）国内外の都市づくり・まちづくりの現場において持続的な都市の形成・再生を実践・主導することを目指す人

注：本案内書の内容に変更や補足が生じた際は、出願期間終了までは東大まちづくり大学院ウェブサイトに、出願期間終了後は入学願書に記載された電子メールを通じて志願者宛に通知します。出願および試験終了までの期間、定期的に確認するようにしてください。

１．　定員及び出願資格

都市持続再生学コース（都市工学専攻、通称「東大まちづくり大学院」）修士課程の募集人員は 12 名である。東京大学大学院工学系研究科都市持続再生学コース（都市工学専攻）修士課程学生募集要項第１項の出願資格を有する者であれば、その専門及び資格取得年次等によらず入学を志望することができる。「都市の計画、デザイン、マネジメント、整備・保全、あるいは様々なまちづくり活動に関わる分野で、社会人として 2 年以上の実務経験」に自分の経歴が該当するかどうか確認を希望する場合は、office@mps.t.u-tokyo.ac.jp に電子メールで連絡すること。

募集要項第１項の出願資格（1）～（6）に関して確認を希望する場合は、募集要項を熟読の上、2023 年 4 月 17 日（月）までに工学系研究科学務課大学院チームへ問い合わせること。

２．　指導教員

本コースは工学系研究科都市工学専攻に設置されているが、都市工学専攻・社会基盤学専攻・建築学専攻の３専攻を横断する教育プログラムであり、教育にはこれら３専攻に属する専任教員、委嘱教員、特任教員、及び非常勤講師があたる。修士論文の指導は、主に都市工学専攻の専任教員が担当する。

教員の専門は、都市計画、都市環境工学のほか、都市のマネジメント、都市政策、都市社会、都市建築デザインなど関連する分野である。

詳しくはコース HP：http://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/mps/　を参照のこと。

３．　カリキュラムの概要 （カリキュラムの詳細も上記コース HP を参照のこと）

まちづくり演習	まちづくりに関連する主要な課題を対象に、ケースメソッド方式の講義を踏まえつつ構想・提案を行います。日常生活圏のまちづくり、持続可能な都市圏計画、中心市街地＝ダウンタウンの再生、都市空間・環境・コミュニティのデザインなど、現代のまちづくりにおいて重要な様々なテーマについて、参加者が議論を重ねながら具体的な提案を試みます。
都市空間政策	まちづくり・都市計画の理論と実践について、体系的に学びます。土地利用、交通、防災・防犯、都市情報、緑地、コミュニティ政策、広域・都市圏計画など、都市計画の各分野の理論を習得するとともに、環境政策、高齢社会・人口減少への対応など、現代のまちづくりで話題となっている新しいテーマも随時取り入れて、最新の理論と実例を学びます。
都市経営基礎	まちづくりに関係する社会科学系の基礎知識を体系的に修得します。法学、経済学、経営学、社会学など関連する様々な学問領域、また学術だけでなく実務的な理論・手法についても学びます。
都市経営戦略	都市産業の振興戦略、文化・観光政策など、都市経営や都市政策の立案に必要とされる実践的な知識を修得します。
都市持続再生学 特別演習 (修士研究)	学生の実務・関心に直結した研究を２年次より行います。
その他 （上記の講義・演習の一部または特別講義により行うもの）	省庁担当官等による都市関係制度・事業、自治体による先駆的試み、最新の都市開発事例などを紹介・概説する講義・セミナー、学術研究や論文執筆の手法を概説する講義、また自治体首長、先進事例の実践者、海外の著名研究者による講義・講演などを予定しています。

４．　選抜方法

(1) 概要

入学者の選抜は、事前の提出書類、筆記による試験、口述による試験で評価し、同時に本コースでの教育への適格性についての評価を行うことにより、総合的に判定し選抜する。試験の科目は、「英語」・「専門」・「論理および構想」の３科目である。

入学試験は、筆記による試験、口述による試験ともに、本郷キャンパスの試験会場にて行う。ただし、事情により入試の日程および形式を変更する可能性がある。

(2) 電子メールによる通知

入学試験の実施に関係する重要な通知を、志願者が入学願書に記載した電子メールアドレス宛のメール送信によって行う予定である。記載した電子メールアドレスによって、常に必要な通知や書類を受信できるよう留意されたい。

(3) 入学試験の日程

筆記による試験、口述による試験ともに、令和５(2023)年６月 17 日（土）に、本郷キャンパスの試験会場にて行う。午前９時から午後６時ごろまでを予定している。

※新型コロナウイルスの感染状況およびその他の事情から、入試の日程および実施方法を変更する可能性がある。日程を変更または追加する場合、令和５(2023)年６月 24 日（土）を予備日として設けているため、全ての志願者は、念のためこの日の日中（午前８時から午後４時ごろまで）を空けておくことが求められる。

(4) 外国人出願者は、選抜方法が異なる場合があるので、あらかじめ都市工学専攻事務室に問い合わせること。

５．　試験の科目

（イ）　**「英語」（配点割合 1/9）**：都市の計画、デザイン、マネジメント、整備・保全、あるいは様々なまちづくりに関係する英語の能力を評価する。

（ロ）　**「専門科目」（配点割合 5/9）**：都市の計画、デザイン、マネジメント、整備・保全、あるいは様々なまちづくりに関わる分野における専門知識を評価する。

（ハ）　**「論理および構想」（配点割合 3/9）**：都市の計画、デザイン、マネジメント、整備・保全、あるいは様々なまちづくり活動に関わる分野における構想力および論理的思考力を総合的に評価する。

６．　過去の入学試験問題

過去の入学試験問題は公開されている。入手方法についてはウェブサイトを参照のこと。

７．　連絡先

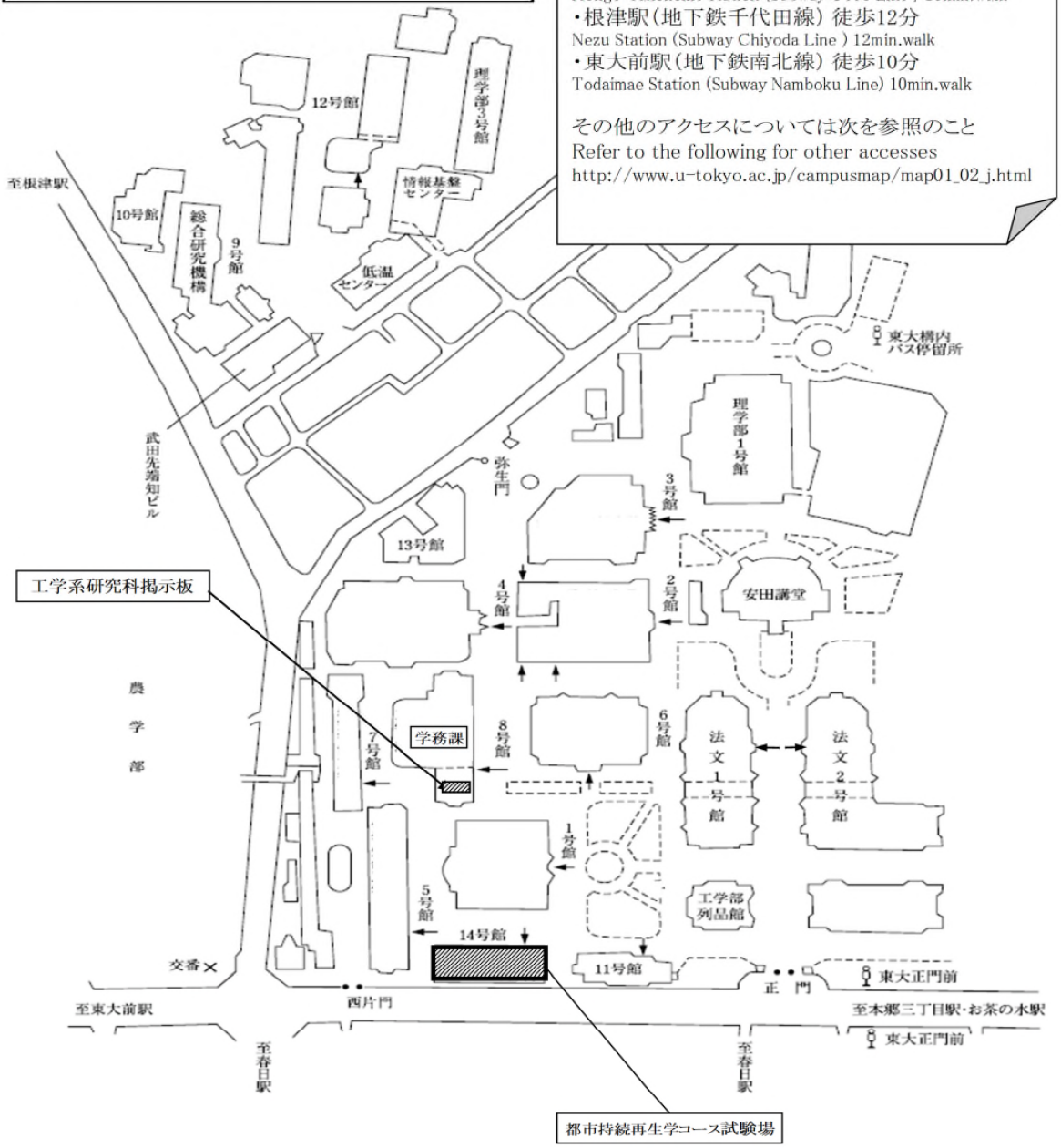
〒113-8656　東京都文京区本郷 7-3-1　東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻事務室
（電話：03-5841-8362　　電子メール：office@mps.t.u-tokyo.ac.jp）

この案内書は、2023 年度東京大学大学院工学系研究科
都市持続再生学コース修士課程募集要項を補うものである

試験場案内（東京大学本郷キャンパス）
Map for the Examination
(Hongo campus, the University of Tokyo)

地下鉄利用　Subway
・本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線）徒歩15分
Hongo-sanchome Station (Subway Marunouchi Line) 15min.walk
・本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）徒歩15分
Hongo-sanchome Station (Subway Oedo Line) 15min.walk
・根津駅（地下鉄千代田線）徒歩12分
Nezu Station (Subway Chiyoda Line) 12min.walk
・東大前駅（地下鉄南北線）徒歩10分
Todaimae Station (Subway Namboku Line) 10min.walk

その他のアクセスについては次を参照のこと
Refer to the following for other accesses
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html



都市持続再生学コース提出書類

実務経験の概要と志望理由

氏名	

本コースでは、原則として、出願時までに都市の計画、デザイン、マネジメント、整備・保全、あるいは様々なまちづくり活動に関わる分野（本コースでは関連分野を幅広く捉えている）で、社会人として２年以上の実務経験がある方を入学者の対象としている。以下では、１.実務経験の概要及びまちづくり活動に関連する資格等、２.実務経験の中で本コースと関係が深いものの詳細と貴方の役割、３.本コースで学習・研究したいこととその理由、について書き、他の提出書類と共に提出すること。別紙の添付は認めない。本書類はコース HP（http://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/mps/）からダウンロードし、作成した上で、提出することもできる。

１．実務経験の概要及びまちづくり活動に関連する資格等

２．実務経験の中で本コースと関係が深いものの詳細と貴方の役割

３．本コースで学習・研究したいこととその理由